

海洋環境保全教室等の開催

活動を行う団体

海上保安庁、公益財団法人海上保安協会

活動の実施場所

全国の保育園、幼稚園、小学校、中学校、海岸等

活動の概要

海洋環境保全教室は、若年層を含む一般市民を対象に、海洋環境保全の重要性を学ぶ場として開催しています。

内容は対象者の年齢に応じたものとしており、保育園児や幼稚園児に対しては、海に流れ込んだごみなどが海洋環境に及ぼす影響について分かりやすく説明した環境紙芝居の上演、小学生に対しては、家庭から排出される汚水が海洋環境に及ぼす影響について、簡易水質検査の結果等を織り交ぜながら説明するなど、興味をひく内容となるように工夫をしています。



小学校における簡易水質検査



幼稚園児に対する環境紙芝居の上演

特に近年、海洋環境に及ぼす影響について懸念されているマイクロプラスチックの元となるプラスチックごみの発生抑制についての啓発にも力を入れています。

また、「海と日本プロジェクト」と連携した活動では、全国の海岸等で、海浜清掃や収集したごみの分類調査を実施しています。

こうした活動を通じて、多くの方に身近なごみが海洋汚染に結びつく現状を体感してもらったり、ごみの由来などを考えてもらったりなど、海洋環境保全の意識を高めてもらうための啓発を行っています。



漂着ごみ分類調査